

# 市民参加の太陽光発電により耕作放棄地再生を推進

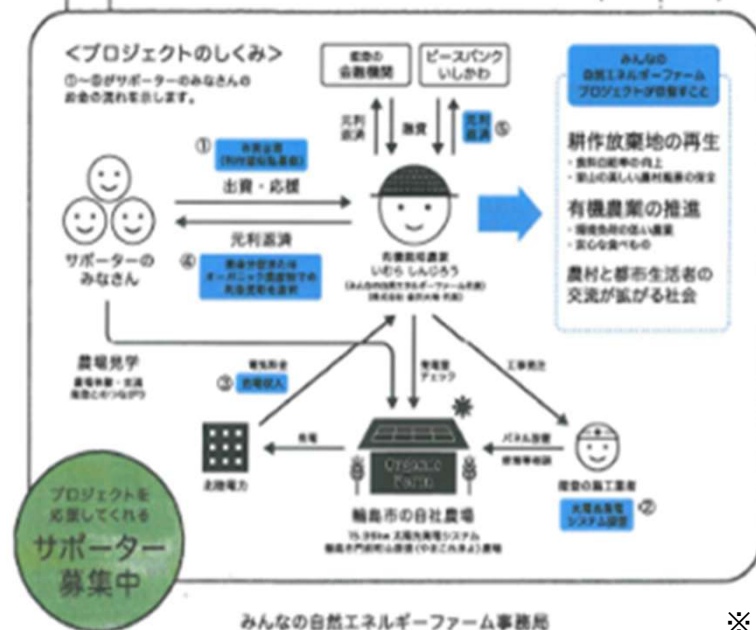


## <概要>

- 事業実施主体：井村辰二郎  
(有機栽培農家：みんなの自然エネルギーファーム代表)  
(石川県輪島市)
- 発電設備：太陽光発電  
発電出力 約16kW  
発電電力量 約1.6万kWh/年
- 建設費：約600万円
- 運転開始時期：平成25年4月

## <特徴>

- 耕作放棄地を再開墾して有機大豆や有機そばなどを栽培。農場にある倉庫の屋根に、太陽光発電設備を設置。
- 太陽光発電により得られた売電益を耕作放棄地の再生費用に充てる事により耕作放棄地の再生を推進。
- 発電設備は、ピースバンクいしかわ※及び信用金庫からの融資を受けて設置。費用の一部は市民から資金を集めて返済に充てた。
- 市民からの資金については、利息分として現金、もしくは有機農産物を選ぶことができ、環境保全型農業の推進にも繋がる。また、農場での収穫体験などを企画することにより、能登を訪れるきっかけづくりを検討中。



みんなの自然エネルギーファーム事務局

参加を呼びかけるパンフレット

※ピースバンクいしかわとは、石川県で活動するNPOバンク。出資者と融資先を同バンクがつながりコーディネートする「お金の地産地消」をすすめることにより、融資先の活動を通じて、地域内の人、モノ等をつなげ、持続可能な仕事づくり、地域づくりに貢献することを目的としている。